



成果指標				
成果指標	社会活動事業数と開催回数、並びに参加延人数			
指標設定の考え方	社会教育機関である公民館は多様な学習機会等の提供、地域社会の形成や地域文化の振興に貢献するなど住民の日常生活に身近な生涯学習のための機関で各事業数と参加延人数を指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	44事業10000人	47事業10000人	0	0
実績	44事業11119人	45事業11235人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域に密着した学習機会を各公民館単位で提供することで地域社会の形成や伝統文化の継承に貢献できた。地域リーダーを中心に継続していく仕組みを検討。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	多様化する生涯学習などの住民ニーズや地方分権と少子高齢社会に対応した現代社会の課題や社会要請を的確に捉えた公民館活動を展開する。特色ある地域の伝統・文化を支援するなど社会教育の充実を図ることを通じて地域の教育力の向上と潤いのあるふるさとづくりを推進していく。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題